学校番号	３００７

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新　言語文化　改訂版」　（三省堂出版）						
副教材等	字義で覚える常用漢字（浜島書店出版）　最新国語便覧（浜島書店出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・「読む能力」を向上させましょう。
・言語で考える力をつけ、語彙力を拡充しましょう。
・コミュニケーションのための「話す・聞く能力」と「書く能力」を高めましょう。
・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働する活動を行います。
・予習として本文を読んでおきましょう。授業後は内容を振り返り、できない個所をできるように練習しておきましょう。
・宿題、提出物について、丁寧に、間違いなく仕上げましょう。期日までに提出することは厳守です。
・授業中のノートは板書を書き写すだけでなく、気づいたことやクラスメイトの意見、その日のポイントなどを積極的に書き込みましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1). 生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
(2). 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。
(3). 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
(4). 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(5). 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(6). 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基礎となる語彙力を増やす。 ・授業で扱う論理的な文章の構成を理解し、情報を適切に読み取ることができる。	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。 ・読み取った情報から自身が何を考えたかを他所と共有し、相互に高め合うことができる。	・言語活動の重要さを知り、粘り強く自身の問いを深め、積極的に他者と共有しようとしていうる。 ・自身の学習を評価し、改善しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	言葉を旅する ［教材］ 千年の時が与えてくれる安堵	a:筆者の主張を理解している。 b[　読　]:現代語の文章から古典作品への理解・関心を深める。 c:古典について学ぶことの楽しさを知ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 発表
	文章に表れたものの見方・考え方を捉える ［教材］ 枕草子	a:歴史的仮名遣いや古語の理解を深める。 b[　読　]:文章に表れたものの見方・考え方を捉える。 c:・我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	物語の解釈の多様さを考える ［教材］ ゴール	a:言葉の意味を知り、物語の読み方に慣れる。 b[　書　]:登場人物の心情を考え、物語の解釈の多様さを考える。 c:物語の読みの多様さを知り、自身の意見を言語化しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	慣用的な表現を捉える ［教材］ 故事二編 虎の威を借る/朝三暮四	a:漢文の読み方の基礎を学ぶ。 b[　読　]:・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 c:さまざまな物事と故事を結びつけることを通して、慣用的な表現を捉えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

二学期	物語の展開を把握する ［教材］ 羅生門	a:・語彙力をつける。下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 b[　読　]:登場人物の行動と心情を考察し、それぞれ主張の「正当性」を理解する。 c:下人の考えの変化を理解し、その理由を考察しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	物語を構成する要素を捉える ［教材］ 沙石集 児の飴食ひたること	a:主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 b[　読　]:・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 c:我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	物語の役割を考える ［教材］ 待ち伏せ	a:語彙力を広げ、「その戦争」について知る。 b[　書　]:物語が提起する問題について思考し、言語化できる。 c:物語が果たす役割関して考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	言語表現の多様さを捉える ［教材］ 鶏口牛後/先従隗始	a:古語の語彙力や歴史の知識を拡げる。 b[　読　]:内容を理解し、人を説得する方法を、古典より知ることができる。 c:表現の意図を考え、共有する。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
三学期	言語と文化の関係を捉えなおす ［教材］ 野焼	a:議力を広げ、我が国の伝統文化の知識を深める。 b[　書　]:筆者の視点を通した伝統文化について理解し、自身の解釈を広げることができる c:「野焼」に対する自身の意見を言語化し、共有しようとする。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	身のまわりの物事を批評的に捉える ［教材］ 徒然草 神無月のころ/家居のつきづきしく	a:語彙力を広げ、古典世界の知識を深める。 b[　書　]:生活や環境に対する兼好法師の考え方について思考し、言語化できる。。 c:現代の視点から見た時の共通点と相違点を考察しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　10　）時間

・読むこと　…　（　60　）時間